

# 令和8年度第1回臨床腫瘍セミナー

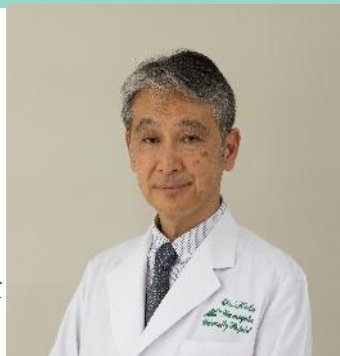
## 山形大学医学部東日本重粒子センター での重粒子線治療

重粒子線治療はBragg-peakを特長とする線量集中性と高LET線としての生物学的な効果により、有害事象のリスクを減らせるだけでなく放射線治療抵抗性の切除困難な病変に対しても治療効果が期待できます。放射線治療と比較して生存率で有効性が確認された疾患、病態に対して、順次保険適用が進んでおり、これまでに12の疾患に拡大しています。山形大学医学部東日本重粒子センターは日本で7番目の重粒子線治療施設として2021年より重粒子線治療を開始しています。疾患別には前立腺がんが最多ですが、最近では肝がん、膵がん、肺がんの患者数が増加しています。本講演では、これまでの治療実績を紹介するとともに、今後の展望について述べます。

山形大学医学部  
放射線医学講座 教授

講師 **小藤 昌志 先生**  
(ことう まさし)

1996年 東北大学医学部卒  
1996年 聖路加国際病院内科  
1999年 東北大学病院放射線治療科  
2005年 MD Anderson Cancer Center 実験放射線腫瘍学  
2007年 東北大学病院放射線治療科  
2010年 量子科学技術研究開発機構 (旧放射線医学総合研究所)  
2024年7月より山形大学医学部放射線医学講座放射線腫瘍学分野 教授  
2026年6月より山形大学医学部東日本重粒子センター センター長



日時：令和8年8月4日(火)17時45分～18時45分

場所：福島県立医科大学11号館第2臨床講義室

司会：鈴木義行先生 (放射線腫瘍学講座)

対面/WEB ハイブリッド開催

WEB参加を希望される方は、下記アドレスまたは右のQRコードからご登録ください。

<https://zoom.us/meeting/register/OOlyOHp5T52lr6TfAhWzCQ>



- ◆がん治療に携わる医師、メディカルスタッフ、患者様及び一般の皆様を対象に公開セミナーとして開催されます。
  - ◆本セミナーは、『東北広域次世代がんプロ養成プラン』事業の一環となっています。
  - ◆本セミナーは、大学院授業要項に基づく「共通必修科目(8)」に該当します。大学院生は履修票をご持参下さい。
- 【お問い合わせ】 福島県立医科大学 教育研修支援課 TEL: 024-547-1095 E-mail: ganpro@fmu.ac.jp  
【次回予定】 令和8年8月18日(火) 18時～19時 福島県立医科大学11号館第2臨床講義室  
(講師) 聖マリアンナ医科大学 臨床腫瘍学講座 主任教授 砂川優先生